

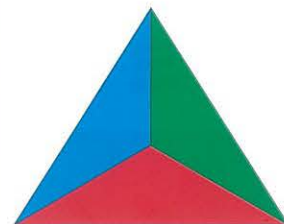
2021年1月3日発行

2021年
新年号

(一般社団法人) 三方會

(一般社団法人)三方會 IFSPK 2021年1月3日

会報 三方會



www.sanpookai.com

SDGsとは?

HOME (<https://imacocollabo.or.jp/>) > SDGsとは?

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。そもそもどう発音するかというと、SDGs (エス・ディー・ジー・ズ) です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

持続可能な開発目標(SDGs)達成に
向けて日本が果たす役割



SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

標語

■ 夢なき者	● 理想なし
■ 理想なき者	● 目標なし
■ 目標なき者	● 実行なし
■ 実行なき者	● 成果なし
■ 成果なき者	● 喜びなし



会社紹介



新発売商材: ステンレス製透水化粧ふた
[Tosk Remake Cover]

会社名: **ダイドレ株式会社**

所在地: 大阪市西区阿波座1-13-15 クリエイトビル

事業所: 東京営業所他 全国10ヶ所

工場: 奈良県磯城郡田原本町

設立: 1952年 8月

従業員数: 65名

資本金: 49,680千円

既存商材: 建築用設備用の排水金具等の製造メーカー

新技術

アラミド繊維補強工法【A-Re工法】



アラミド繊維補強工法
設計施工技術講習会
講習修了証

会社名

講習年月日

氏名

発行年月日

写 真

210203

アラミド繊維補強工法

三方會 技術委員会



一般社団法人 三方會
www.sanpookal.com

※講習会を受講してください。

コンクリートはまだまだ強くなれる! Neコートでしなやか+強靱なコンクリートへ。

潮風などの塩害、酸性雨、排気ガスなどに晒され続けるコンクリートの中性化を防ぎ、地震などの災害にも負けないしなやかさと強さを兼ね備えた新素材・新感覚のコンクリート補強・補修材、その名は「Neコート」。

従来のエポキシ樹脂製品より刺激臭も少なく、作業員の健康被害対策にも効果あり。

「Neコート」は環境にも優しくエコロジカル。パッケージもシンプルで使い勝手も良好。

温度が低くても固まりにくい性質なので、寒さの厳しい冬の現場でも、施工時の失敗によるロスを減らすことができます。さらに相性抜群の

「アラミド繊維」との高含浸率により、今までにはない柔軟で強靱なスーパーコンクリート基礎が誕生します。

「Neコート」は建物の底からガッチリ支え守ります!



■Neコート 性状

項目	AUコート	試験方法
主成分	ウレタン樹脂	-----
外観	灰色粘膜液体	-----
比重(23℃)	1.09	JIS K 5600
可使時間(23℃)	60分	JIS K 5600
硬化乾燥時間(23℃)	7時間	JIS K 5600

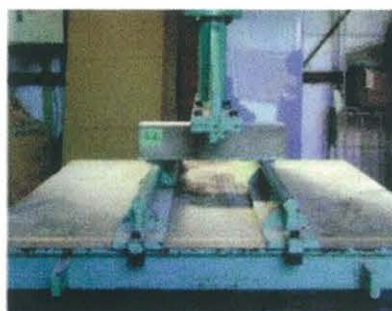
■Neコート 塗膜物性

項目	強さ	試験方法
引張強度	33.0N/mm ²	JIS K 6911
伸び率	6.3%	JIS K 6911

※数値は測定値であり規格値ではありません。

■アラミド繊維貼付供試体の曲げ試験結果 (新接着剤貼付強度検討)

- ・試験日：令和2年8月3日(月)
- ・試験内容：JIS R 5201
- ・セメントの試験方法：強さの測定から曲げ強さ試験を本試験供試体に適用し試験を行いました。



■試験結果

破壊荷重
曲げ強度 Rt [N/mm ²]
14.13

新素材

■マクレーンシート



●シート断片を延長したい場合は、シート表面（サンド部）とシート裏面（フィルム側）をバーナーで加熱溶融し、シート同士10cm以上ラップさせしっかりと圧着する。



●シート端部（保護砂無し部）にマクレーン両面テープを貼付する。
※この時離型紙は剥がさない。



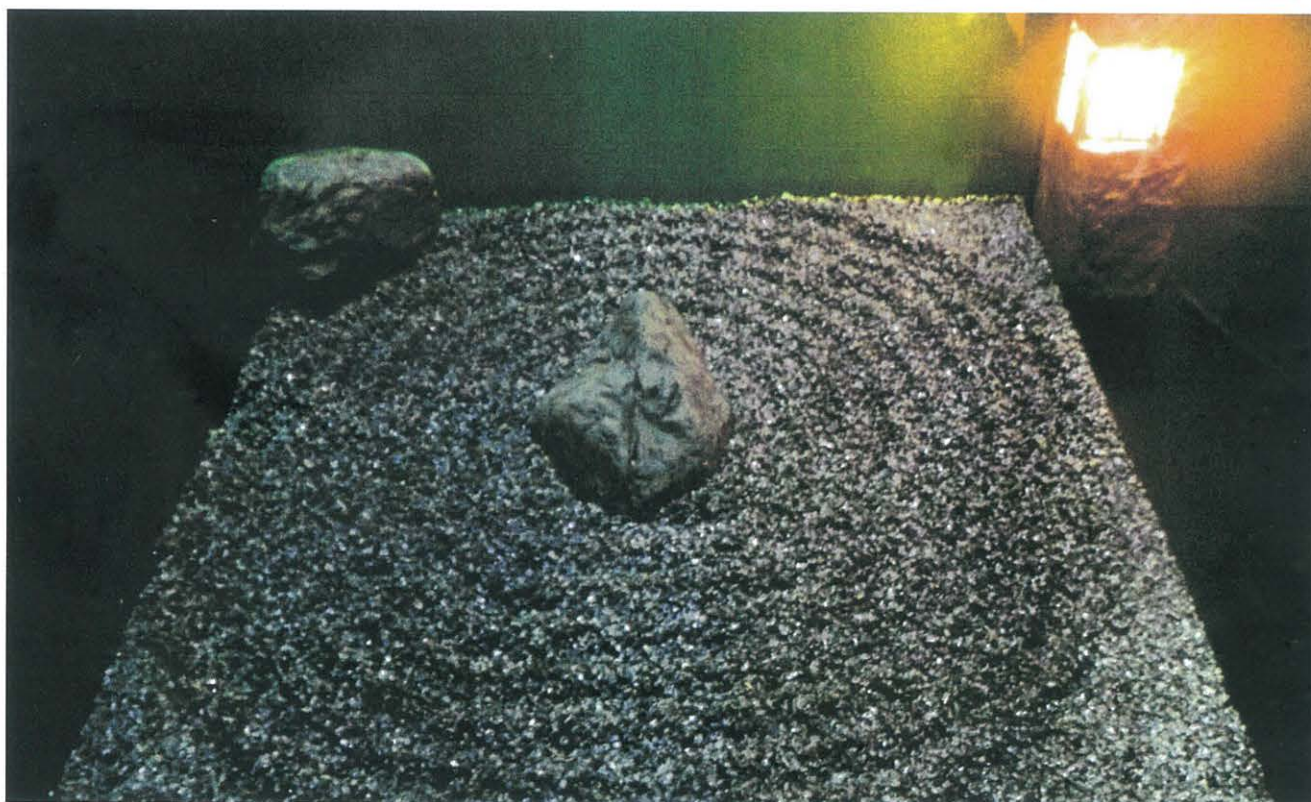
●シートを拡付する。

株式会社 白崎コーポレーション

新商品

■ロックバインダー

●シャワー工法



●枯山水 (株) ファイン工業 (写真)

三軍Ⅱ多数の軍隊の意
郎党Ⅱ家の子、家来
幽に日月を迎えるその絶景は
古来多くのの人々を賞歎せし
多くの詩人に愛され、幾多の
詩篇に詠われて来てます

富士山観
西島香雲
威が然も凌いで超然
是れ三軍四巡を庄するに似り
展望す他山郎党の観
幽に日月を迎え詩篇に入る

編集手帳

大澤 英次

「富士山」

「仙客来たり遊ぶ雲外の頂・・・」石川丈山作「富士山」は、三方會創刊号に掲載され、俵山先生や三好理事長、柳川氏が吟じた。詩吟で最初に習う漢詩である。

富士山は一度登るべき山だが、二度登る者はバカだと云われている。私はオオバカで、二十歳頃、四十六才、五十二才の時と、三度登った。初めての時は富士吉田駅からバスで馬返しへ入り、徹夜で登降した。まだスバルラインが無かった頃だ。もう、三十年から六十年以上昔になる。当時の金剛杖は今も手元にあって、棒振り体操に使っている。今では振るよりも、支えとして縋っている始末である。

二度目・三度目は夕暮れとともに、五合目から鈴をつけた金剛杖を頼りに岩礫の登山道をジグザクに登って行く。頂上の在処は見えず、星空に浮かぶ黒い山体に、懐中電灯の明かりがジグザクに行く手を示している。森閑とした中で、それは亡者の列のようであった。臨死体験のように、「死ぬと、こうしてあの世へ行くのだナ！」と三度とも思った。

「懺悔、懺悔、六根清浄！」という掛け声が自然と出てくる。生きてきた間の、様々な罪障を捨て「眼耳鼻舌身意」の無い状態即、六根を捨て、その働きである「色声香味触法」を知覚しない状態で、只ひたすら登って行く。・・・と、云うより、足を運ぶことだけ、息をつくことしか頭に無くなる。胸突き八丁という頂上直下では、三つか四つ息をついてやっと一步を進めるという状態になる。その頃になると、闇は払われてきて、モルゲンロート、空、雲、山、岩、人、すべてが虹く初められ、やがて雲海の彼方から太陽が昇り始める。その瞬間、生き返ったかに感じた。富士山は頂上へ着くまで平坦な所はない。唯登るだけだ。そして、降りも延々とひたすら下る。この世に生まれて来て、そういう体験は一度はしてみる価値があると思う。

